

熱血指導で失業者を経理のプロに

大阪市

地方の元気前線

不況で職を失った人たちを経理実務のプロに育てようと、日夜熱弁を奮っている「熱血先生」がいる。大阪・京橋で職業訓練スクールを運営する「ケースメソッド」社長の横山隆志さん(51)である。

15年前、中小企業を対象に会計ソフト「弥生会計」の使い方の指導を始めたが、次第に経理実務そのものを任されるようになった。その時、あまりにも多くの企業が経理を人任せにしていることに疑問を持ち、経理実務の人材教育を始めた。

「企業にとって経理は「心臓」です。なのに小規模になると月次決算もしない企業がたくさんある。要するに「どんぶり勘定」なんですね。これでは経営計画などとても立てられません。まずは経理実務にたけた人材がいつも経営者の近くにいる環境をつくらなければ」

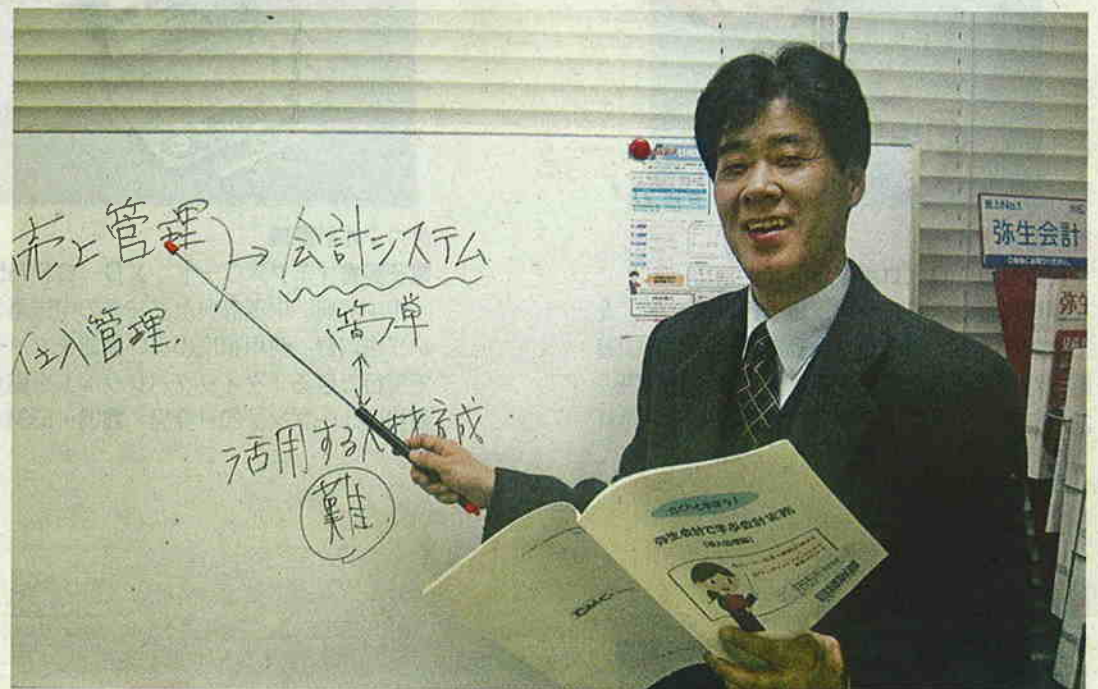
そして、横山さん自身も猛勉強を始めた。この10年の間に取

得した資格はなんと23種類。日商簿記をはじめ、ビジネス実務法務、全国経理協会簿記、法人税や情報システムの各種インストラクターなど、中小企業の経理に必要と思われる資格を片っ端から取得した。現在、中小企業診断士を目指している。

かくして職業訓練スクールで教える科目も増えていった。生徒の大半は求職者で、ハローワークからの紹介も多い。次の職に就くために有効な資格として「日商簿記」などは人気が高いという。

昨年末ごろから、横山さんのもとを訪れる求職者が目に見えて増え始めた。100年に1度といわれる経済危機が、人々をかたつてない雇用不安に陥れていることを実感した。

「でも今はチャンスなんです。これまでの常識を覆すことができるからです。私は今こそ、中小企業の経理にたけた人材を増やしたい。私の生徒は理



早朝から夜遅くまで、経理実務を教える横山隆志さん。再就職を願う「生徒への愛」が伝わってくる

論だけでなく実務も習得するので、将来就職した企業は間違いなく「強い企業」になります」と明るく笑う。

横山さんのもとにはたくさんの求職者が真っ青な顔をしてやってくる。しかし、横山さんの前向きな言葉に次第に笑顔になっていく。そして新たな職を求めて経理実務を学び始める。

うわさを聞いて、北陸や九州など遠方から訪れる生徒もいるという。そんな生徒のために最近、DVD通信講座も始めた。電話やメールでの質問にも熱心に答えている。生徒が全国どこにいても、横山さんの情熱は変わらない。

「昨年、卒業生の忘年会を開きました。60人ほど集まってく

れました。不安でいっぱいだった生徒たちの笑顔を見るのが一番うれしい。もちろん皆、無事に就職していますよ」

とにかく早く職に就いてほしい。その一心で、今日も朝早くから夜遅くまで、横山さんの「熱血講義」は続く。

(TMオフィス社長 殿村美樹)
＝毎月第2、4金曜日に掲載